

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	市民やすらぎ課
	施策	生活衛生の向上		電話番号	087-822-1917
	基本事業	墓地、斎場の安定的な維持、運営		事業実施主体	市
	事務事業	市民葬儀事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	市民葬儀は、葬儀に要する経済的負担の軽減を図り、広く市民が利用することのできる葬儀制度として実施している。この制度では、市が葬儀の種類及び料金を定めて市民葬儀取扱指定業者に取り扱わせ、霊柩車運行料の助成や火葬料及び市斎場の式場使用料（一定時間）の免除を行っている。		
30年度概要	<ul style="list-style-type: none"> ・斎場等運営懇談会の開催 ・霊柩車運行料の補助、火葬料及び市斎場の式場使用料（一定時間）の免除 		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	葬儀を行う市民
意図（どのような状態にしたいか）	経済的負担の少ない簡素な葬儀を普及させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
市民葬儀利用件数	件		564	501	600	600

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	市民葬儀利用率	%	目標値		13.74	13.17	13.3	13.3
			実績値		13.24	12.01		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） HPやパンフレット配布による市民葬儀事業のPRに努めたが、目標値である13.17%より低い12.01%の達成度であった。 (目標達成度)			(達成度) 91.2% 31点				
	成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)			(達成度)			

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	16,359	16,372	14,796	16,234
（事業費）	[円]	12,520	12,446	11,002	12,440
（職員人件費）	[円]	3,839	3,926	3,794	3,794

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
昨年度は、市民葬儀利用件数が前年に比べて63件少なかった。これは、近年、低価格の家族葬が増加していることが原因の一つと考えられる。今後は、低価格で葬儀内容も充実している市民葬儀のメリットを、市政出前ふれあいトークなどを通じて積極的にPRするとともに、葬儀を取り巻く社会情勢の変化等を踏まえて、制度のあり方を検討したい。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
市民葬儀制度について積極的に周知するとともに、必要に応じて市民（遺族）や葬祭業者を対象にアンケート調査を行うなど社会情勢の変化等の把握に努め、制度の在り方を検討する。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	市民やすらぎ課
	施策	生活衛生の向上		電話番号	087-839-2273
	基本事業	墓地、斎場の安定的な維持、運営		事業実施主体	市
	事務事業	墓園・墓地整備事業		事業期間	平成28年度～平成33年度

【事業全体概要】

事業の概要	市民の墓所需要に応じて、新たな墓所を供給するため、高松市墓地整備計画（平成29年度～33年度）を策定した。この計画に基づき市営墓地の無縁墳墓の移転改葬、新規墓所整備及び墓地の環境整備を行う。平和公園墓園・六ツ目公園墓園等、新規区画の造成が可能な市営墓地の整備についても計画的に推進する。		
30年度概要	市営墓地の適正な環境整備を行う。なお、墓地区画販売数が平成29年度で71区画で、計画どおりの墓地需要が見込めない状況であり、納骨堂等へ改葬し、墓じまいを行うという社会情勢の変化も考慮しながら、適正な墓地区画整備を進めていきたい。また、平和公園墓園において、管理事務所の新築工事等を実施する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	


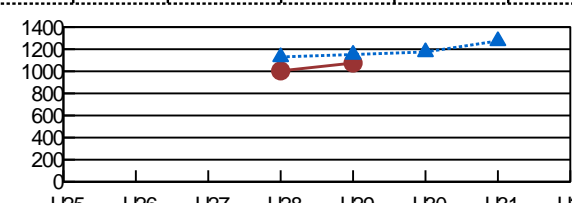
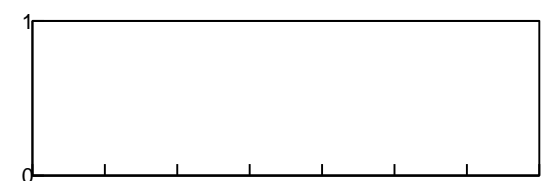
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	市民の墓所需要に応じた墓所の新規整備と、適正な墓地環境の整備

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
新規墓所整備数（累計）	区画		1,208	1,208	1,208	1,408

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	新規墓所使用許可数（累計）	区画	目標値		1,130	1,152	1,175	1,070
			実績値		1,004	1,075		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 姥ヶ池東墓地と平和公園墓園の新規区画造成工事が平成28年度竣工し、貸出を開始し、29年度許可数は、71区画である。 	(目標達成度)						(達成度) 93.3% 32点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	(目標達成度)						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	111,363	99,758	30,356	104,029
（事業費）	[円]	96,777	84,841	15,941	89,614
（職員人件費）	[円]	14,586	14,917	14,415	14,415

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

墓地区画貸出数は、平成28年度が97区画、平成29年度71区画であり、貸出数が減少傾向であることから、平成29年度、新規区画整備は行われず、計画の墓地需要（年148区画）をを満たしていない。納骨堂等への改葬により、墓じまいを行う市民が増加傾向にあることなど、社会情勢の変化を注視していく必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

社会情勢の変化を考慮し、墓地整備計画の中間的な見直しも検討課題に含め、墓地需要の分析を適正に行い、事業を注視しながら行うことが必要である。